



1. ごあいさつ
2. 前回の振り返り（説明）
3. 施設の事業について（説明）
4. 宮前市民館・図書館の既存事業と参考事例（説明）
5. ワークショップの進め方、お約束について（説明）
6. グループワーク
7. グループ発表
8. 次回予告・なんでもアンケート

次回：第5回「みんなのためのルールを考える①」

12月5日（土） 場所：土橋小学校 特別活動室

あたらしい宮前市民館・ 図書館を考える ワークショップ

2020年11月7日（土）

第4回テーマ

「行きたくなる」を考える
～年間スケジュールを考えよう～

本日のプログラム

1	①10:00～10:05 ②14:00～14:05	ごあいさつ（5分）
2	①10:05～10:10 ②14:05～14:10	前回の振り返り（5分）
3	①10:10～10:20 ②14:10～14:20	施設の事業について 宮前市民館・図書館の既存事業と参考事例（10分）
4	①10:20～10:25 ②14:20～14:25	ワークショップの進め方、お約束について（5分）
5	①10:25～11:30 ②14:25～15:30	グループワーク（65分） 「行きたくなる」を考える～年間スケジュールを考えよう～ - 自己紹介（5分） - 個人で意見出し（20分） - グループワーク（20分） - まとめ（20分）
6	①11:30～11:50 ②15:30～15:50	グループ発表（20分）
7	①11:50～12:00 ②15:50～16:00	次回予告・なんでもアンケート（10分）

1. 前回の振り返り

前回の振り返り

前回のテーマ 宮前区らしいスタイルの市民館・ 図書館を考える

- ・宮前区のどんなところが“じまん”？いいところって？
- ・どうしたら「宮前区らしいスタイル」の市民館・図書館になる？
ということについて考えていただきました！

前回の振り返り

■宮前区のじまん

種別①	種別②	宮前区のじまん	どう伸ばす？新施設にどう活かす？
人			
	市民活動	・市民活動が盛ん 子育てサークル等 ・地域のコミュニティが多い ・多様な団体の活動も活発	・地元の基地局から情報や市民活動を放送する ・市民の創作したものを公開できるギャラリーのような場所を作る ・個人の持っている写真やビデオ等を集めて市民ライブラリーを作る
	多様性	・色々な人がいて個性が多様 ・外国人の居住者が多い（39か国）	・多様性を活かせるように交流の場・機会を増やす ・多言語で発信
	その他	・ランニングしてる人が多い（健康意識が高い） ・人がやさしい	・走っている人のために休憩できる場所を作る
環境			
	自然	・自然が豊富 ・公園がたくさんある	・皆で植物を育てるイベントをつくる ・自然を残す
	農業	・地場野菜、フルーツ、梨、メロンなどが美味しい ・農産物直売所が多い	・市民館の中で地場野菜や果物を販売する（マルシェ） ・市民館で市民の作品や農作物を即売できるようにルールを緩やかに
	子育て	・子育ての多様性、自主保育グループなど ・子育ての支援が大きい	・子育て世代と元気な高齢者をつなぐ仕組み”遠くの孫より近くの孫” ・本を探す間など短い間子どもをあずかるサービス
	イベント	・高齢者向けのイベントや小さい子へ向けた幅広い年代に合わせたイベントの充実	・施設内でイベントができるところを屋内にも屋外にもつくる
	歴史・伝統	・歴史的な場所が多く保存されている	・歴史について学ぶサークルの存在を活かして、市民が歴史について学ぶ機会を増やす

前回の振り返り

■宮前区の課題①

種別①	種別②	宮前区の課題	どう改善する？新施設で何ができそう？
人			
	市民活動	・地域活動をしている人と全く活動していない人との交流が難しい	
	高齢者	・健康な高齢者が暇を持て余している	・クイズ大会 みんな〇〇のNo.1 ex)宮前の自然・歴史・文芸などみんなで高齢者を尊敬する
	外国人	・外国人が多いがあまり市民館・図書館で見かけない ・海外からの移住者に施設やイベントをPRする方法が少ない	・外国人と触れ合いやすいような環境にする ・カフェ(インターナショナル)を開く
	その他	・昼間人口と夜間人口の差が大きい	・コワーキングスペース、サテライトオフィスを開設して昼間人口の増加を図る
環境			
	農業	・区内の農園があまり知られていない ・メロンが特産なのにあまり知られていない	・野菜や果物を売るマルシェ ・宮前区「物産展」を定期的に関開く(市民に宣伝する)
	交通	・交通の利便性が悪い	・市バスの拡充
	地形	・坂が多く移動が大変 ・坂道が多く健康でないと外出しづらい	・バス便を増やす ・坂→ギネスへ一番速い流しそうめんイベント
	特徴	・宮前区といえば"コレ"というものが欲しい	・ランドマークになる建築
	子育て	・子育て世帯が多いわりにサポート施設が少ない(おむつ替えできる所)	・授乳室・おむつ替えスペースなど綺麗な施設をつくる
	地域	・色々な歴史があるけど知っている人が少ない	・情報発信スペースを市民館の中に作る
	遊ぶ	・エンタメ施設が少ない ・スポーツ施設が少ない	・映画館を作る ・スポーツができたリ、部活の友達と練習できる設備やスペースをつくる
	居場所(学生)	・何となく集まる広場がない ・学校外の居場所が少ない、フリースクール、中高生が集まる場所	・市民館に小学生コーナー、中学生コーナー、フリーエリア

前回の振り返り

■宮前区の課題②

種別①	種別②	宮前区の課題	どう改善する？新施設で何ができそう？
市民館・図書館	立地	・図書館が区に1つしかなく、遠い ・利便性が良くない（市民館・図書館）	・本の貸し借りのできる場所を増やす、コンビニの活用 ・電子書籍貸出し
	スペース	・空間を分けていない ・市民が集まりに使える部屋が少ない	・グループ学習ができるスペース ・少し話しながら勉強できるスペース
	利用者	・身体障がい者の利用が少ない	・時間によってターゲットを定める
		・働く世代の施設利用が少ない	・働く世代のためにジム・体育施設を設ける
		・在日外国人の利用が少ない	・PCの作業ができるようにWi-Fi環境を整える
			・「川崎都民」のために開館時間を長くする
	ルール	・公共施設利用の自由度が低い	・営利目的に使える公共施設(営利と非営利の中間が必要)
	情報発信	・市民館や地域の情報が届きにくい。IT情報は特に高齢者には入手しづらい	・エントランスに電子掲示板でおすそめを伝える
		・イベントを知る機会が少ない	・SNSを使う！（インスタ、ツイッター、LINEなど）

ワークショップのスケジュール

回数	日付	テーマ
第1回	8月22日(土)	やりたいことを実現するための施設にするには？①
第2回	9月12日(土)	やりたいことを実現するための施設にするには？②
第3回	10月3日(土)	宮前区らしいスタイルの市民館・図書館を考える
第4回	11月7日(土)	「行きたくなる」を考える ～年間スケジュールを考えよう～
第5回	12月5日(土)	みんなのためのルールを考える①
第6回	1月16日(土)	みんなのためのルールを考える②
第7回	未定	複合施設のメリットを活かした取組を考えよう
第8回	未定	「まちに飛び出す」を考える
第9回	未定	「地域の“チカラ”を育む」を考える ～どんな風に参加する？～

2. 施設の事業について

まずは…「管理運営の6つの柱」



『管理運営計画』で具体化していきます

調査

基本構想

基本計画

設計・施工

管理運営計画・開館準備

開館運営

イマココ!!

事業について～主催事業と貸館事業

主催事業とは

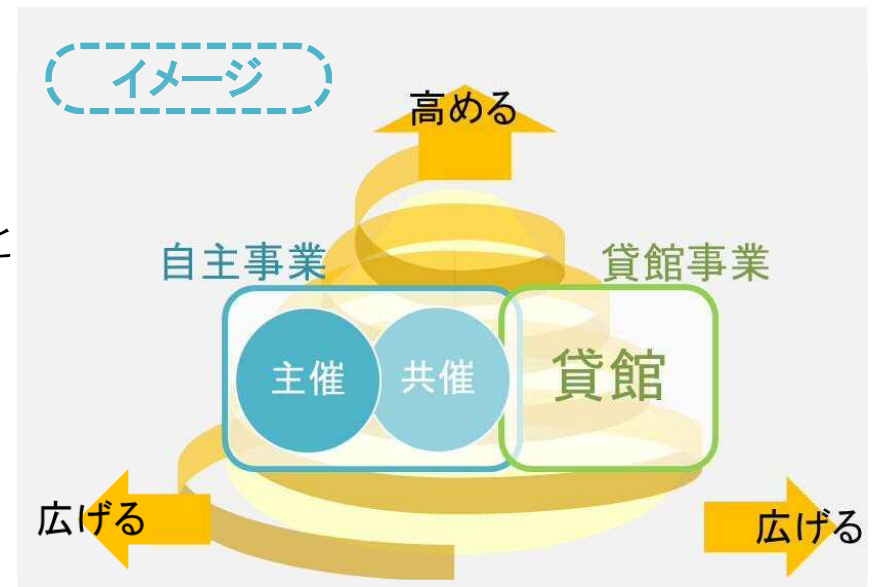
施設の運営者が、主体となって行う事業

- 運営者が企画をしたり、公演をしようへいしたりする
- 事業にかかる費用は運営者が負担し、参加者は実費のみを負担する

貸館事業とは

施設を借りる人（市民やプロの団体）が主体となって行う事業

- 運営者は施設を貸し出し、借りた人から使用料金をもらう
- 近年は、単に施設を貸し出すだけでなく、貸館も地元の文化創造につながる「事業」と捉え、制作・技術などのアドバイスをして、市民の発表の質の向上を支援する積極的な取り組みを行う施設が増えている



市民館の自主事業の方針・分類（全館共通）

教育文化会館・市民館は社会教育施設として、下記の方針や事業分類に基づいて各館で事業を計画し、提供しています。

● 基本方針

- ①市民一人ひとりの学習する権利と自由を保障し、市民の**自主的な学習活動を振興**する。
- ②人権尊重の精神に基づき、市民一人ひとりが互いに認め合い**共に生きる社会の創造**をめざす。
- ③市民の自主的な学習活動の振興を通して、市民参画と協働による**市民自治の実現**をめざす。

● 社会教育振興事業

- ①社会参加・共生推進学習事業
- ②市民自治基礎学習事業
- ③市民学習・市民活動活性化学習事業
- ④市民・行政協働・ネットワーク学習事業
- ⑤現代的課題対応学習事業
- ⑥学習環境整備事業

基本計画における事業・サービスの考え方

基本計画 第7章・事業サービスの考え方	事業に関することの記述
1. 従来の事業・サービスの 継続	市民館は社会教育法の目的を、図書館は図書館法の目的を達成するため、従来の事業・サービスを継続することを基本とする。
2. 幅広い利用者層に対応した 事業・サービスの推進	学びと気づきの多様なきっかけづくり、つながりづくりや地域の賑わいを創出するために、幅広い利用者層に対応した事業・サービスを推進する。
3. つながりや賑わい、地域への愛着を 生み出す 事業・サービスの充実	新しい施設が地域の文化・交流拠点としての機能を発揮するために、地域のつながりや賑わい、地域への愛着を生み出す事業・サービスの充実を図る。
4. ICTを活用した 事業・サービスの推進	学びと気づきの多様なきっかけづくりのために、利用者が容易に欲しい情報にアクセスでき、活用できるICTを活用した事業・サービスを推進する。
5. 地域の課題解決につながる 事業・サービスの充実	教育分野以外の専門性を有する関係機関や地域の人財・団体等の多様な主体と緊密な連携関係を構築することにより、地域の課題解決につながる取組を推進する。
6. 効率的・効果的な事業・サービスの 提供手法の検討	1から5までの事業・サービスを実現するために、効率的・効果的な事業手法のあり方を総合的に検討する。

検討のポイント

従来の事業の方針、分類以外で、基本計画に書かれた考え方の実現、前回考えた「宮前区らしさ」の実現のために、どんな事業が必要でしょうか？

たとえば・・・

○従来行われている講座等以外で、地域に必要な「学び」などの事業はありますか？

○「文化・交流拠点」となる新しい市民館・図書館において、従来の事業にない文化芸術の事業にどう取り組むのがいいでしょうか？
公演を観る？舞台に立ちたい？活動のスキルアップ講座？

○市民館、図書館の融合性や、駅前に立地することを生かした複合的な事業はどんなものが考えられますか？

○この施設に足を運びづらい人たちに対して、館外等で事業を行うなど、何か良い案はありますか？

3. 宮前市民館・図書館の 既存事業と参考事例

宮前市民館の利用状況

● 宮前市民館利用状況（平成30(2018)年度）

室名	利用率	主な利用
大ホール	76%	約50%が音楽（歌・演奏）、約20%が会議・講演、ダンス・バレエ
大会議室	76%	約60%がダンス等軽運動、約20%が音楽
第1会議室	54%	約90%が会議・講演・学習会
第2会議室	35%	約80%が会議・講演・学習会
第3会議室	63%	約80%が会議・講演・学習会、約20%が手芸・絵画・将棋・華道・工作等
第4会議室	60%	約70%が会議・講演・学習会
和室	51%	約80%がヨガ等健康法
料理室	31%	約90%が料理
実習室	45%	約70%が美術・絵画・工作
視聴覚室	61%	約80%が音楽
体育室	92%	約80%が卓球・ダンス・健康法
児童室	29%	ほとんどの利用が保育
ギャラリー	94%	ほとんどの利用が美術展・作品展

宮前市民館で行われている主催事業

●講座の開催

子育て世代、シニア世代、日本語を勉強したい外国人市民の方などを対象に、さまざまな講座を開催しています。

〔講座の例〕

【子育て世代向け】

「子育て期、ワタシにとってはどんな時期？」(全5回)



子育て期を充実させるための講座を開催しました。

【シニア世代向け】

「写真を撮りに街へ出よう」(全10回)



プロのカメラマンに技術を学び、街へ出ました。

【平和・人権がテーマ】

「夏休み小学生の平和研究」(全5回)



平和について考え、戦争に関係する施設を見学しました。

【どなたでも】

「学んで、広めよう。楽しいIT講座」(全5回)



ITの可能性や活用方法を学びました。

宮前市民館で行われている主催事業

●市民自主学級・市民自主企画事業

地域や社会の課題解決を目指し、地域みなさんが考え、提案してくれた講座や催しを、みなさんと市民館が協働して実施しています。

●交流活動

全館イベントの「夏休み子どもあそびランド」や「子育てフェスタ」にはたくさんの方が集まり、大人から子供まで、多様な交流が生まれています。また、イベント等を通じてサークル同士がつながる場にもなっています。



この事業をきっかけに誕生した
コミュニティカフェ（Cafe みやまえ）



「夏休み子どもあそびランド」
のひとこま

宮前市民館のイベント

●通年でやっていること

催事名	概要	時期	会場
宮前日本語学級	ボランティアと生活で使う日本語の勉強をする外国人向けの講座。	金曜日午前 水曜日夜間	第4会議室
宮前フレンド おもちゃ病院	「菅生おもちゃドクターの会」が、おもちゃを修理。	偶数月の 第4日曜日	実習室
障がい者社会参加学習活動「みやまえウインズ」	障がい者とボランティアと一緒にバスハイクや工作などを行い、共に生きる地域社会の実現を目指す活動。	第2日曜日	第4会議室他



日本語学級



おもちゃ病院

●毎年やっていること

催事名	概要	時期	会場
夏休み子どもあそびランド	地域の住民が「あそび」を通じて交流する、宮前市民館の一大イベント。	8月頃	全館 市民広場
みやまえ子育てフェスタ	乳幼児を持つママ・パパへの情報発信と、子育てに関わる地域の団体との出会いと交流の場。	10月頃	全館 市民広場



子育てフェスタ企画委員会



子育てフェスタ 19

※詳細は配布資料参照

宮前図書館で行われている活動

- 読み物や実用書、各分野の本や絵本、紙芝居、新聞、大活字本、辞典類、「布の絵本」等の資料や情報を提供
- 地域資料や行政情報等の提供
- ビジネスや学習の支援、レファレンス（調べもののお手伝い）
- インターネット端末やデータベース情報の提供／自動貸出機2台
- 学校図書館の支援（授業支援図書セットの貸出、図書館見学、職業体験など）
- おはなし会（乳幼児向け～小学生向け、大人のおはなし会など）
- 認知症の人にやさしい小さな本棚
- フロンターレコーナー
- 企画展示コーナー
- 障害者サービス（郵送サポート、対面朗読）
- 自動車文庫
- おはなし会ほか、各種イベントの開催など
- 子育て支援コーナー
- ティーンズコーナー



布の絵本



認知症の人にやさしい
小さな本棚

※詳細は配布資料参照

地域に必要な「学び」等の事業事例の紹介

●特別研究室モーニングセミナー（日比谷図書文化館）



画像出典：

<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/laboratory/>

- 貴重コレクションを用いた歴史研究に端を発する、参加者同士が勉強・研究成果を発表し合う交流サロン。
- 毎週木曜日の午前中に開催、定員20名程度。
- 元大学教授や作家等、リタイア層知識人が多く参加。

地域に必要な「学び」等の事業事例の紹介

●ウィキペディアタウン in 大阪市立中央図書館（大阪市立中央図書館）



画像出典:

https://libinfo.fjas.fujitsu.com/loy_report/2017_wikipediatown.html

- インターネット百科事典「ウィキペディア」の地域の文化財や観光名所等に関する記事を編集するイベント。
- 午前中にまちを歩いて歴史スポットを見学し、午後は図書館資料も活用しながら参加者自身のパソコンやタブレットで見学先の関連項目を追加・編集。

地域に必要な「学び」等の事業事例の紹介

●サイエンスモールin飯塚（飯塚市立飯塚図書館）



「理科読」



「科学広場」

画像出典：
<http://www.iizuka-library.jp/news/2019/rep/eventrep.html>

○市内大学や新聞社等と連携し、2日間にわたって開催する子ども向け科学イベント。

○「理科読」は絵本の読み聞かせと理科実験を組み合わせ実施。

○「科学広場」では市内外の大学・高校や民間企業、NPO法人、市役所等が40ブース程度を展開。

これまでの事業になかった文化芸術の 事業事例の紹介

●サーカス・バザール（埼玉県富士見市 富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ）



画像出典：施設HP

○地域の物産展と地域の人々が交流する場と、国内外の大道芸やサーカスを組み合わせたイベントとして、平成24（2012）年に立ち上げられた。

○バザールでは、市内や近隣から農業や商店などの人たちが集まって、旬の野菜やお米、地元の食品や料理、手作りグッズなど、富士見特産の品々を販売したり、親子で楽しめるイベントを開催する。

これまでの事業になかった文化芸術の 事業事例の紹介

●伝承ホール寺子屋 カブキ踊り『渋谷金王丸伝説』（渋谷区文化総合センター大和田）



画像出典：
伝承ホール寺子屋
Facebook

- 平成22（2010）年の開館以来、自主事業の柱として上演を続けている、渋谷の英雄金王丸の伝説を“カブキ踊り”で描く公演。
- 新たな〈伝統藝能の形〉、区民の〈藝能体験〉習熟度を発表する場。
- 令和2（2020）年度はWITHコロナ版に時短凝縮した舞台をつくり、区民80人が「渋谷カブキ音頭」動画での出演、共演となった。
- 後日、公演動画配信も予定している。

これまでの事業になかった文化芸術の 事業事例の紹介

●中高生対象レベルアップワークショップ（東京都北区文化芸術活動拠点 ココキタ）

吹奏楽 アンサンブルワークショップ
～アンサンブルの「いろ・ば」～
参加者募集!

2024年12月26日(水) 10:00～16:30
(会場) ココキタ (東京都北区荒川5-1-1)

参加費 無料! 東京都北区で唯一の吹奏楽のワークショップを開催します!

講師 Ensemble Level (アンサンブル・レベル)

【講習内容】
10:00～15:00
・基礎知識・基礎練習
・アンサンブルの基礎知識
・アンサンブルの基礎練習
・アンサンブルの基礎知識
・アンサンブルの基礎練習

15:10～16:30
・アンサンブルの基礎知識
・アンサンブルの基礎練習
・アンサンブルの基礎知識
・アンサンブルの基礎練習

【参加費】
参加費 無料! 東京都北区で唯一の吹奏楽のワークショップを開催します!

【お問い合わせ】
〒114-8502 東京都北区荒川5-1-1
TEL: 03-6338-5711 (受付時間: 10:00～17:00)
Eメール: kcf_kitabunka@kitabunka.tokyo

中高生対象レベルアップワークショップ
参加者募集!

2024年11月22日(日) 10:00～16:00
(会場) ココキタ (東京都北区荒川5-1-1)

参加費 無料! 東京都北区で唯一の吹奏楽のワークショップを開催します!

講師 Ensemble Level (アンサンブル・レベル)

【講習内容】
10:00～15:00
・基礎知識・基礎練習
・アンサンブルの基礎知識
・アンサンブルの基礎練習
・アンサンブルの基礎知識
・アンサンブルの基礎練習

15:10～16:00
・アンサンブルの基礎知識
・アンサンブルの基礎練習
・アンサンブルの基礎知識
・アンサンブルの基礎練習

【参加費】
参加費 無料! 東京都北区で唯一の吹奏楽のワークショップを開催します!

【お問い合わせ】
〒114-8502 東京都北区荒川5-1-1
TEL: 03-6338-5711 (受付時間: 10:00～17:00)
Eメール: kcf_kitabunka@kitabunka.tokyo

中高生対象レベルアップワークショップ
参加者募集!

2024年11月22日(日) 10:00～16:00
(会場) ココキタ (東京都北区荒川5-1-1)

参加費 無料! 東京都北区で唯一の吹奏楽のワークショップを開催します!

講師 Ensemble Level (アンサンブル・レベル)

【講習内容】
10:00～15:00
・基礎知識・基礎練習
・アンサンブルの基礎知識
・アンサンブルの基礎練習
・アンサンブルの基礎知識
・アンサンブルの基礎練習

15:10～16:00
・アンサンブルの基礎知識
・アンサンブルの基礎練習
・アンサンブルの基礎知識
・アンサンブルの基礎練習

【参加費】
参加費 無料! 東京都北区で唯一の吹奏楽のワークショップを開催します!

【お問い合わせ】
〒114-8502 東京都北区荒川5-1-1
TEL: 03-6338-5711 (受付時間: 10:00～17:00)
Eメール: kcf_kitabunka@kitabunka.tokyo

中高生対象レベルアップワークショップ
参加者募集!

2024年11月22日(日) 10:00～16:00
(会場) ココキタ (東京都北区荒川5-1-1)

参加費 無料! 東京都北区で唯一の吹奏楽のワークショップを開催します!

講師 Ensemble Level (アンサンブル・レベル)

【講習内容】
10:00～15:00
・基礎知識・基礎練習
・アンサンブルの基礎知識
・アンサンブルの基礎練習
・アンサンブルの基礎知識
・アンサンブルの基礎練習

15:10～16:00
・アンサンブルの基礎知識
・アンサンブルの基礎練習
・アンサンブルの基礎知識
・アンサンブルの基礎練習

【参加費】
参加費 無料! 東京都北区で唯一の吹奏楽のワークショップを開催します!

【お問い合わせ】
〒114-8502 東京都北区荒川5-1-1
TEL: 03-6338-5711 (受付時間: 10:00～17:00)
Eメール: kcf_kitabunka@kitabunka.tokyo

画像出典: 施設HP

- ココキタでは、音響設備を設置したスタジオ等を中高生に無料で貸し出すなど、若手アーティストの活動支援を行っている。これに加えて、文化芸術活動を行う若者を北区から発掘し育てていこうと「文化芸術の卵育成事業」を行っている。
- （公財）北区文化振興財団が事業の一環として、若手アーティストの育成・支援を行うワークショップ。
- 中高生を対象に、音楽、美術、演劇などの一流講師陣が一步踏み込んだ内容のワークショップを実施する。

市民館と図書館の連携、駅前立地を生かした 多分野複合性のある事業事例の紹介

● コラーレ ワールド・フェスティバル「Earth Moving」 （黒部市国際文化センター コラーレ）



画像出典:施設HP

- 全館の施設や機能をフルに活かし、2日間にわたって開催される。
- 実行委員会とコラーレが開催するワールド・フェスティバル。毎年、世界の国や地域をひとつ取り上げ、その国の音楽や舞踊を中心に、文化や芸術、民族や歴史などを紹介しながら、国際的に展開する。
- フェスティバルの運営とそれにかかわるスタッフはボランティア。

市民館と図書館の連携、駅前立地を生かした多分野複合性のある事業事例の紹介

●カダーレフェスタ2017（由利本荘市文化交流館 カダーレ）



画像出典:
施設HP

- 吹奏楽、ダンス、ライブ、ちえすのお笑いステージや、ゆりほんテレビの番組公開収録、エフエム秋田のラジオ番組公開収録などのステージイベント。
- 市民活動室特設ステージでは、ご当地うどん世界大会が開催される。
- 地元の名産や飲食、学生たちの起業体験、様々な雑貨などの出店が並ぶ。
- ビアガーデンやプラネタリウムや伝統文化の体験教室など、館内様々な部屋で催しが行われる。

市民館と図書館の連携、駅前立地を生かした多分野複合性のある事業事例の紹介

●まちじゅう図書館講座（山口市立中央図書館）



画像出典：
<https://www.lib-yama.jp/tsubuyaki/index.html>

- どこでも図書館の本が読める「サテライトライブラリー」の普及を目指すプロジェクト「まちじゅう図書館」の一環で、図書館とパートナーシップを結んだ事業者が定期的を開催するイベント。
- コーヒーやお茶の淹れ方、メイクアップ、庭木のせんてい等について実演や実践等を交えつつ紹介。
- 会場には貸出可能な関連資料も展示。

市民館と図書館の連携、駅前立地を生かした多分野複合性のある事業事例の紹介

●星空ナイトウォッチング（あかし市民図書館）



画像出典：
明石市立図書館Facebook

- 天文科学館（近隣施設）とのコラボによる星空観測イベント。
- 学芸員の星空トークや図書館員のクイズの後は屋上広場に移動し、天体望遠鏡で夜空を観測。

アウトリーチなど館外の事業事例の紹介

●おでかけアリオス（福島県いわき市 いわきアリオス）



画像出典：
施設HP

- アーティストと一緒に市内の小中学校を訪れ、本物の芸術に間近で接する機会を提供している事業。
- いわき市出身もしくは在住のアーティストといわきアリオススタッフが協議を重ねながら、オリジナルの「おでかけアリオス」プログラムを構築する研修プロジェクトを、平成21（2009）年から立ち上げた。より子どもたちに寄り添い、地域の特色を取り入れた内容の「おでかけアリオス」を実施している。

アウトリーチなど館外の事業事例の紹介

●公共空間×移動図書館×豊かな日常（佐倉市立図書館）



画像出典：
図書館総研撮影

- withコロナにおける公共サービスのあり方や移動図書館の付加価値等を模索する社会実験。
- 水辺の駐車場に移動図書館とキッチンカーを展開し、「早朝の水辺で、本とコーヒーとパンで豊かな一日の始まり」をキャッチフレーズに7：00～10：00に開催。
- 絵本の読み聞かせや実施設計が完了した「（仮称）佐倉図書館等新町活性化複合施設」（図書館とその他公共機能との複合化による移転・整備事業）の内容説明なども実施。

アウトリーチなど館外の事業事例の紹介

●森の生活（常総市立図書館）



画像出典：
<https://yoursbookstore.jp/works/1739/>

- H.D.ソロー『森の生活』に因み、小説に出てくる“三つの椅子”をコンセプトとして本・音楽・食を楽しむキャンプイベント。
- 「森の百冊絵本」として図書館資料をキャンプ場に展開
- トライアル・サウンディングも兼ねて開催。
- 参加者が本を持ち寄って交換する「本の持ち寄り交換会」。

※トライアル・サウンディング…実際に公共施設を暫定利用してもらいながら、従来の市場調査プロセスを兼ねる市場調査。

3. 本日のグループワーク

「行きたくなる」を考える ～年間スケジュールを考えよう～



本日のTODO

- 1 第1回WSで考えた「やってみたいこと」をふまえて、
新しい市民館・図書館に「行ってみたい！」と思えるようなイベント
を考えてみましょう！

⇒既存の活動の場合は緑色の付せん、新たな活動の場合は黄色の付せんへ

● 考えていただく際のポイント

- ①すでに行われている練習・催し・会議
などの文化活動、市民活動（＝既存の活動）
はどんなものがあるか
- ②施設ができれば新たに増えるといいなと思う、
さまざまな利用・催し（＝新たな活動）
には、どんなものがあるか

「行きたくなる」を考える ～年間スケジュールを考えよう～

● 記入例

既存の活動

- ①第九のパート練習
- ②ホール、練習室
- ③市民団体

新規の活動

- ①宮前の産業展
- ②大ホール、
ギャラリー
- ③市、商工会

書いた付せんは、ファシリテーターが回収して模造紙に貼ります。
(感染防止のため)

<ポイント>

お配りするメモに下記の3点を書いてください。

①催しの内容

(例：「ダンス練習」、「コンサート」など)

②使う部屋

(例：「ホール」、「練習室とギャラリー」など)

③主催者

(例：「〇〇の会」「市民ホール運営者」など)

「行きたくなる」を考える ～年間スケジュールを考えよう～



本日の作業イメージ

スペース	春(3～5月)	夏(6～8月)	秋(9～11月)	冬(12～2月)	通年
ホール					
ギャラリー					
保育					
創作活動 スペース					
図書館					
フリー スペースなど					
屋外・ 他施設など					

第1回WSのご意見振り返り

機能	場所・エリア	ワークショップご意見
交流	ホール	・ 予約なしで当日参加できるイベント
	ギャラリー	・ 映画鑑賞イベント ・ 展示物の販売 ・ 部活、授業などの発表
	保育	・ フロンターレ（地元愛）推し ・ 地域の子どもの作品展示
	多目的・	・ 子育て支援イベントの際に高齢者をボランティアとして募集する ・ 子どもの居場所（ICTを利用した見守り）
	会議・教養	・ オンライン配信専用の部屋がほしい（Zoom、Skype等） ・ 国際交流の推進 ・ 音楽を聴いたり、楽器を使える部屋
	新規・拡充	・ 常に市民によるイベントがされている部屋 ・ 多世代で交流 ・ 施設のムービーを作って宣伝する ・ カフェ（飲食可能スペース、本の閲覧も可） ・ マルシェ（市場）
	図書館	・ 好きな姿勢で本を読みたい（床に寝転ぶなど） ・ 夜のおはなし会（夏に怪談など） ・ 本について語り合う、図書館に泊まる
	その他	・ 若手が主催するイベント ・ 区民で新しいイベントを考える ・ 屋外広場と一体になったイベント ・ まちと施設の垣根を無くす

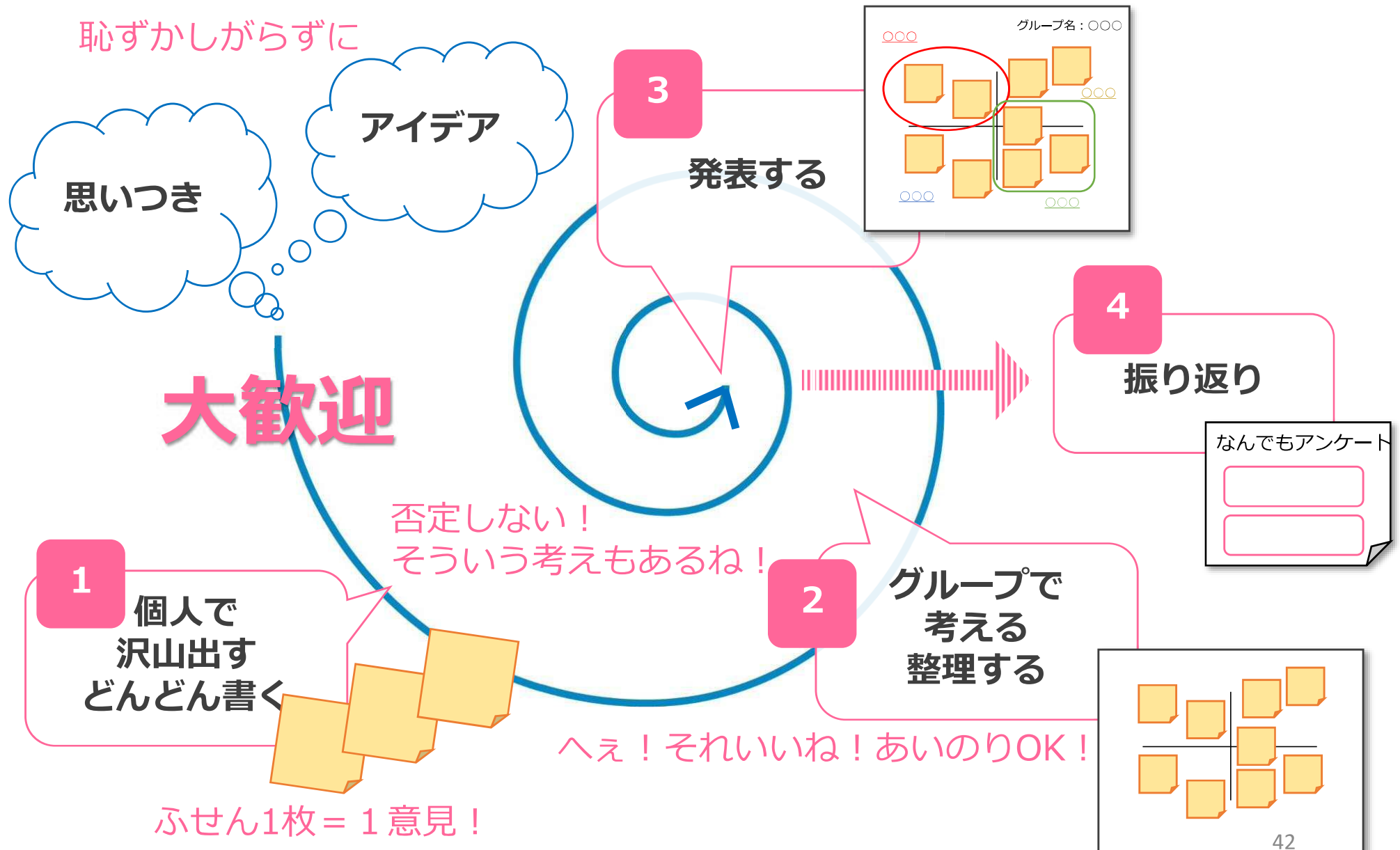
第1回WSのご意見振り返り

機能	場所・エリア	ワークショップご意見
共創	ホール	・絵本などの演劇 ・提携している市町村、国、都市との交流 ・演劇ワークショップ
	ギャラリー	・部活、授業などの発表
	保育	・一時預かり ・乳幼児親子のためのスペース
	多目的・	・デジタルものづくり設備（3Dプリンタなど）
	会議・教養	・市民のスキルアップ教室 ・地域で活動する人たちの紹介
	新規・拡充	・音楽機器の設置（スピーカーなど） ・サテライトワーク
	図書館	・リーディングサービス ・アウトリーチサービス ・持ち寄り文庫の新設（市民が持っている資料の活用） ・学校との連携（学校で使う資料を借りる）
	その他	・施設を利用する回数によって無料で使える仕組み（スタンプカード式） ・最新のモノ、コトを常にトライアル（設備、プログラム、イベント） ・ワークショップなどのお知らせが伝わるしくみ(SNS活用)

機能	場所・エリア	ワークショップご意見
学習	ホール	・鑑賞教室 ・ビブリオバトル
	保育	・子育て講座 ・子育てグループへの支援
	多目的・ 会議・教養	・fablabのような誰でも使えるものづくりスペース ・工作DIY
	新規・拡充	・歴史を学び、体験する ・災害のことを学ぶ
	図書館	・集中して読書するための個室 ・会話ができる学習スペース ・Wi-Fi環境 ・席予約をネットからしたい ・読む・調べるスペースを広く ・郷土資料の公開（市民の手で整理） ・専門書も気軽に借りたり閲覧できる ・専門家を交えた読書会 ・本のレビューを書いたり読んだりする
	その他	・市民に学びたいことのアンケートをとる

4. ワークショップの進め方、 お約束について

ワークショップの流れ



ワークショップのお約束

は

恥ずかしがらずに、
どんどん書いてみる、出してみる。

ひ

否定しない！ 自分と違った意見も、それもあるね。

ふ

ふせん1枚に一意見。
なるべく沢山、なるべく短く。

へ

へえ！ それ、いいね！ 真似してOK！
便乗して発想を広げる。

ほ

他の人・グループの意見を聴く、褒める。

感染拡大防止のためのお願い

- ご発言の際にマスクを外さないでください。
 - 話し合いの際、手を挙げてからお話してください。
 - 文房具などの共有、受け渡しは行わないでください。
 - 書き終わった付せんは、机の上の分かりやすい位置に置いてください。
 - お茶、飴、マスクなどは会場に捨てず、お持ち帰りください。（ご希望の方にゴミ袋をお渡しします）
 - 終了後、名札とアンケート、文房具などはご自分の席の前に置いたまま、ご退出ください。
-
- 参加後に新型コロナウイルスの陽性となられた場合には、速やかに市にお知らせください。

5. グループ発表

6. 次回予告、 なんでもアンケート

今後の予定

回数	日付	テーマ
第1回	8月22日(土)	やりたいことを実現するための施設にするには？①
第2回	9月12日(土)	やりたいことを実現するための施設にするには？②
第3回	10月3日(土)	宮前区らしいスタイルの市民館・図書館を考える
第4回	11月7日(土)	「行きたくなる」を考える ～年間スケジュールを考えよう～
第5回	12月5日(土)	みんなのためのルールを考える①
第6回	1月16日(土)	みんなのためのルールを考える②
第7回	未定	複合施設のメリットを活かした取組を考えよう
第8回	未定	「まちに飛び出す」を考える
第9回	未定	「地域の“チカラ”を育む」を考える ～どんな風に参加する？～



次回予告 みんなのためのルールを考える①

様々な人にとって使いやすい 施設のルールを考える！

検討する内容

- ・ ホール…貸出区分、予約方法
- ・ 図書館…会話・座席の利用ルール
- ・ 共通…休館日、開館時間等のルール など

お疲れ様でした！

最後に

本日の感想や言い足りなかったことなど、
「**なんでもアンケート**」にご記入ください。

第4回 あたらしい宮前市民館・図書館を考えるワークショップ
なんでもアンケート

お名前： _____

1. 本日の感想をどうぞ！

2. 言いそびれてしまったこと、今後の要望など、なんでもどうぞ！

ありがとうございました！